

彩の合気

編集発行
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関誌 No. 10

埼玉連盟合同講習会 19団体 179名猛暑の稽古

去る7月2日(日)、桶川市総合体育館に植芝守央道主をお迎えし、第18回合同講習会が開催されました。講習会は、主管道場桶川愛気会の加藤師範の挨拶に始まり、主催者代表市塚副会長の挨拶に続いて、早速道主の講習が開始されました。

「皆さん、暑さには慣れていると思います。」と緊張感をさりげなく解されたあと、準備運動に続いて、転換法、両手取り二教・入身投げ・小手返しと移り、さらに、肩取り正面打ち一教・入り身投げへと進まれ最後は、座技呼吸法で締めくくられました。体調がいかにか重要か、菌切れの好い説明と模範演武によって改めて、認識することができました。

講習会終了後は、主管道場の心遣いにより、昔日のさきたま田園風景を今だ残す意趣あふれる宴会場で、直会となりました。「暑い中、皆さんが一生懸命稽古されたことを大変うれしく思っています。」と道主が挨拶されると、会場内に安堵感が漂ったようでした。

参加各団体の交流も深め、二時間後散会しました。

(猛暑の中、熱の籠もった道主の指導)



熱連の動向

1. 蕨合気道会 連盟加盟

設立	昭和59年2月
会の目的	①. 会員相互の親睦を図り、合気道の 展を目指す。 ②. 関係団体との交流。 ③. 上記の目的達成のための必要な事
稽古場所	市民体育館・蕨第二中学校
会員	36名
代表者	山田重郎

2. 常任理事会(3月5日於:和光市養老の滝)

林副会長・川路理事長・松橋事務局長以下8名参加で定期総会・理事会日程・検討事項の審議。任期満了に伴う新役員選出。役員選出については、理事長より現体制でもう一期、臨みたい旨の表明があった。

3. 理事会(4月6日於:上尾市市民体育館)

13名参加。常任理事会提案の報告・検討事項及び、蕨合気道会の連盟加盟が全員一致で承認されました。首尾良く総会に臨む事が決定。

4. 第18回定期総会(6月4日於:埼玉会館)

- I. 平成11年度事業・決算報告
松橋事務局長より報告・三輪幹事の監査報告が有り、承認。
- II. 平成12年度事業計画・予算案
松橋事務局長より事業計画・向笠理事より予算案提出。全員一致により承認・可決。
- III. 第15回少年部錬成会 12団体174参加。
- IV. 蕨合気道会加盟 正式承認。

5. 総会后、第1回理事会開催(前常任理事全員承認)

道場便り

入間幸館道場 松長 住正

—— 日々の稽古風景

幸武館道場合気道部では、週2回、(日曜日午前8時半少年部、水曜日午後7時成人部)稽古しております。日曜日は、9時半より成人部の稽古となります。

8時前後になると、稽古が待ちきれない子供達が集まってくるので、指導者はのんびり時間までに来ればよいというわけにはいきません。道場では履き物の脱ぎ方、挨拶・掃除など単に稽古のみで終わらぬよう、人として身に付けるべき礼儀や作法など、様にも気を配っています。稽古は単に稽古のみに終始するのではなく相互の信頼や交流も大切です。8がつの最後の日曜日には飯能河原でバーベキューを楽しみ、子供や保護者・会員の親睦をはかりました。

成人部の稽古は黙想から始まります。それまでの、始まる前の挨拶を交わしたり、身体をほぐしたり、雑談したり、のんびりしたり日曜日の朝の雰囲気は、静寂に満ちた引き締まった空気に変化します。神殿・開祖への礼のあと開戸師範(7段)、越田講師(7段)の指導のもと真剣みあふれた稽古が続きます。誰もが心地よい汗を流した満足感とともに、あたらしい活力を得て稽古は終わります。水曜日は仕事の関係で、大勢での稽古は出来ませんが、少人数ならではのじっくりした稽古ができ、終わった後の爽快感は、また格別です。

当道場では、入間市教育委員会の主催による市民合気道教室を、毎年9月後半より日曜日の午後、数回にわたって開催し好評を得ています。教室参加後、当道場で稽古を続け、すでに黒帯を得た会員や黒帯目前の会員も何人もおり、合気道の愛好者拡大に大きな力を発揮しています。盛会の幸武館は、中島館長の並々ならぬ道場への愛着と助力のおかげですが、古希をはるかに過ぎても、一層お元気な館長を中心に、会員一同張り切って稽古を続けています。



志木合気会 福田秀男

—— 志木合気会便り

志木合気会では、毎年「池田昌富スイス合気会師範による講習会」[当会指導師範・亀井格一先生(合気道明心会)主催]に参加しています。

今年の講習会は9月9日・10日の2日間入間市武道館にて、合宿形式で行われました参加者は主催者側の合気道明心会のほか、合気道八起会、桜台合気道クラブ、自由が丘道場、緑が丘合気会、読売文化センター、それに志木合気会を含め総勢約60名でした。さらに今回は池田師範が9月13日からの「国際合気道大会・講習会」に合わせてスイス、オーストラリアから青い目(?)のお弟子さん5名と共に来日されたた、その方々も参加されました。高弟のミケーレンさん、フリッツさん等です。

第1日目は、午後3時から6時までの3時間で、一教の体捌きが剣の立ち居振る舞いと関連していることの一例を木剣を用いて示され、このことが合気道の技全般と深く関わっていることを懇切丁寧に説明されました。受講者の中から、目から鱗が落ちた感があったとの感想も聞かれました。

第2日目は、午前九時から12時の三時間で第一日目の追加説明のほか、完全に寝ころんだ状態から横回転で立ち上がる受け身などをはじめ、基本的な技をご指導いただき、皆さん大変参考になった様子でした。終始和やかな雰囲気講習会は、全員での記念撮影で終了しました。

宿泊は、「入間グリーンロッジ」利用し、夕食の席では、自己紹介をかねた各道場の紹介も行われ、国際色豊かで、和気藹々の雰囲気が印象的でした。尚、亀井師範の「合気道明心会」は、会員数20名、稽古は稽古は水曜日と金曜日の週2回、各午後6時半から8時まで、入間市武道館で行われています。「お互いに和を尊び、明るくのびのびと稽古に励むこと」と入門案内書に記された道場心得から、この道場の雰囲気うかがい知ることが出来るように思われます。



所沢市合気道連盟については、埼玉県合気道連盟結成15周年誌に発足当時の状況を紹介していますので、是非ともご購読をお薦めします。

さて、所沢市合気道連盟の中核を為す新所沢合気道同好会は毎年度末の2月第2日曜日より4週連続の初心者合気道教室を開いております。平成12年2月の教室は第10回目を数え合気道普及には大いなる成果を挙げています。創立以来、ご指導なさっている針すなお師範7段は、佐賀市内に高伝館本部道場を開設、平成12年5月に福岡市内に高伝館福岡道場を開設する運びになり、所沢への指導は毎週1回から3週間に1度となりました。しかし、その空白は御手洗温蔵師範6段、浅見利夫5段、奈良一三雄四段が指導。

現在、毎週水曜日7時から9時まで、木曜日7時から9時まで、日曜日は1時から5時までの時間帯を市民体育館で、合気道の練習を行っています。

一方、連盟加盟の並木合気道クラブは忍山東師範の指導で毎週木曜日午前9時から11時まで、日曜日は9時から13時まで稽古を行っています。

平成11年12月から毎週土曜日の9時から11時まで連盟傘下の会員の有志で合気道の合同稽古に励んでいます。

平成12年は、所沢市制施行50周年を迎えますので10月8日は合気道の記念演武会を予定しており、県内はもとより今日までお世話になった師範や道場の方々をお招きし大会を盛り上げていただく計画を立てております。

合気道の人口を増やすため、各種教室、研修会を設け子供、女性、高齢者の層に視点を当てて努力中です。

<行事予定9月以降>

- ①. 10月8日 市制50周年記念演武大会
- ②. 2/11~3/4 初心者合気道教室
- ③. 3/11~3/25 初心者講習会



今年で3度目の支部合宿。昨年この欄で私が書いたこと「ついに来てしまった」これが、合宿の朝の感想。一転して今年は、「ガンバラナクチャ」などと大変化、生まれ変わったのです。(大袈裟でしょうか)

出発時はやや曇天、ですが高速開通に入り暫くすると快方に向かい絶好の合宿日和、今年は参加者が多くバスの中は人いきれでムンムン。子供達の元気の良いこと。前の席に座る松橋さんと馬鹿話などしている内に、アッという間に尾瀬に到着。

昼食後、軽い散歩と川遊び。やはり少年部はエネルギーギッシュ、呆れるほどよく遊ぶ「稽古は大丈夫かしら」やや不安になるほど。一日目の稽古が始まった。少年部の準備運動・受け身・馬飛び等々、子供達と組になってすべて同じメニュー。こんなにきついことを普段こなしているのかと、感心感心。

3時半から5時まで大人の稽古、気温はグングン上昇、でも昨年ほどには疲れを感じない。稽古の最後は木剣、ふと時計を見ると、5時をとくにオーバ。やや「もしかしたら、先生終了時刻を」気になりだした。勘違いではなく、いつものことで指導に熱が入り、我を忘れたのです。

温泉とメシ・メシと頭の中でひたすら唱えともかく1日を無事終了しました。

2日目、6時から早朝稽古になっていました。起床係りのじさんが各部屋を廻りたたき起こす手はずになっていたのです。ところが、女子高生二人と私の部屋を忘れたから、大変。ええ、しっかり3人寝ていました。30分後、じさんがあわてて飛び込んできたのです。おこしに来ることをしらなかった女子高生の方、「勝手に女の子の部屋にはいかないで」としっかり抗議していました。ワタシ知りません。

ですが、何となく皆さんの目の冷たいこと。挽回するべくこの日の稽古は必死でした。稽古が終わり、昨年と同様、河原での鱈つかみ取り(少年部)魚は串に差し、炭火焼き。待つこと1時間あまり、おにぎりと一緒にばくばく。あの味はクセになります。

このように、3回目の合宿何一つ失敗もなく、負い目もなく、元気いっぱい過ごしたのです。



連盟少年錬成会 174名盛會に

4月16日(日)、上尾市市民体育館において第15回連盟少年錬成会が開催された。参加は12団体174名。指導はA&P石垣道場の関太郎氏。関氏の若々しくユーモアと機知に富んだ進行により子供達は終始歓声を挙げながら、錬成会に臨んだ。下の文は参加した子供の感想です。

楽しかった錬成会

—— 合気道 和光支部・畔柳 明子

4月16日、上尾市の市民体育館で、埼玉県合気道連盟の少年部錬成会がありました。同じ埼玉県だけけれど初めてで、早くつかないかなと、ドキドキワクワクしていました。

体育館につくと、中は広くて、きれいで、こんな体育館和光市にもあったらいいなと思いました。さっそく着替えて、体育館の中にある道場に行きました。いろいろな支部のひとがいました。

2部構成で、最初にほかの支部の人と技の練習をやって、次に自分たちの支部で演武をする。最初の技の練習は関太郎先生が教えてくれました。おもしろい先生で、まるで体操のお兄さんみたいな先生でした。

いっぱい人がいる中で、私は持だったので、とてもめだっているみたいでした。演武も終わって、川路先生が前にでて今日は、楽しい合気道のやりかたを教えてもらって、楽しく合気道ができて、とてもよかったですとおもいます。」と話してくれました。

私は、楽しく合気道をやるのもいいなと思いました。教えてくれる人によって合気道がいろいろ違うので、とても勉強になりました。

今回は、友達はできなかつたけれど、また今度も、錬成会に行っていきたいです。

おわり

投稿

和光支部・尾形 元枝

—— 「観」 ——

平成12年2月13日、日曜日、高麗川。和光支部では、恒例となった城西大学合気道部主催の観式。毎年支部からは10数名参加。今年も11名。この日、少し風はあったが、「川原の石がいつもよりあたたかい」川路師範の言葉通り、日差しが柔らかい。しかし、いざ入ると川の水はやはり冷たい。痛いぐらに冷たい。

この冷たさに、私は思う。冬には暖房、夏には冷房と季節感がなくなってしまった今の世の中。

きれいで便利な事、軽薄な面白さが受ける世の中。人と人がたえず争い合い非難し合い、皆、同じでなければ気が済まない世の中。

己のこののみを考え、守り大きな視野を持ってなくなってしまった歪んだ心が被う。何か、現代は茫として平坦である。

若輩者の私には大きな事は言えないが、こんな世こんな日本の行く末を憂えている。今私ができることは、日本の精神に触れ、文化を学び継承していく事だと思っている。冷たい川に入るのも、そんな心に突き動かされるからだ。

「世の人は我を何ともいはずはばいへ

我がなすことはわれのみぞ知る」

—— 坂本龍馬

編集後記

彩の合気」も記念すべき10号。何とか困苦八苦、試行錯誤の中で発行してきました。この間、原稿をお寄せ下さった支部・道場の皆様、事務局を代表し厚く御礼申し上げます。

編集を通し、感じましたのは、各団体共多様で工夫に満ちた活動をされているということ。お一人おひとりの合気道に対する情熱の傾け方、頭の下がる重いです。

まだまだ埋もれた実践があるように見受けられます。幅広い機関誌となりますよう、多くの便りをお寄せ下さい。

秋は演武会・各種行事が目白押しかと拝察します。各団体のご活躍をここより折念いたします。9月吉日

(事務局長：松橋忠美)

